

項目		説明
試料・情報の利用 目的及び 利用方法	研究課題名	同種造血幹細胞移植中に嚥下機能障害を発症し胃瘻造設が有効であった1例
	研究目的	同種造血幹細胞移植では感染のリスクから経口摂取不良患者への経腸栄養は避けられることが多い。嚥下障害を発症し胃瘻造設をせざるを得なかった症例を経験したため報告する。
	研究対象者	2020年5月から2020年8月に当センター血液内科科にて同種幹細胞移植の治療を受けた患者。
	研究期間	西暦 2021年 2月 22日 ~ 西暦 2021年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(食事摂取記録) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理 について の責任者	当センター 研究責任者	伊藤 洋平
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	栄養管理科、薬剤科、看護局、血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし